

# 規制改革会議・貿易タスク・フォース ご説明資料

神戸港ゲートオープン社会実験結果について

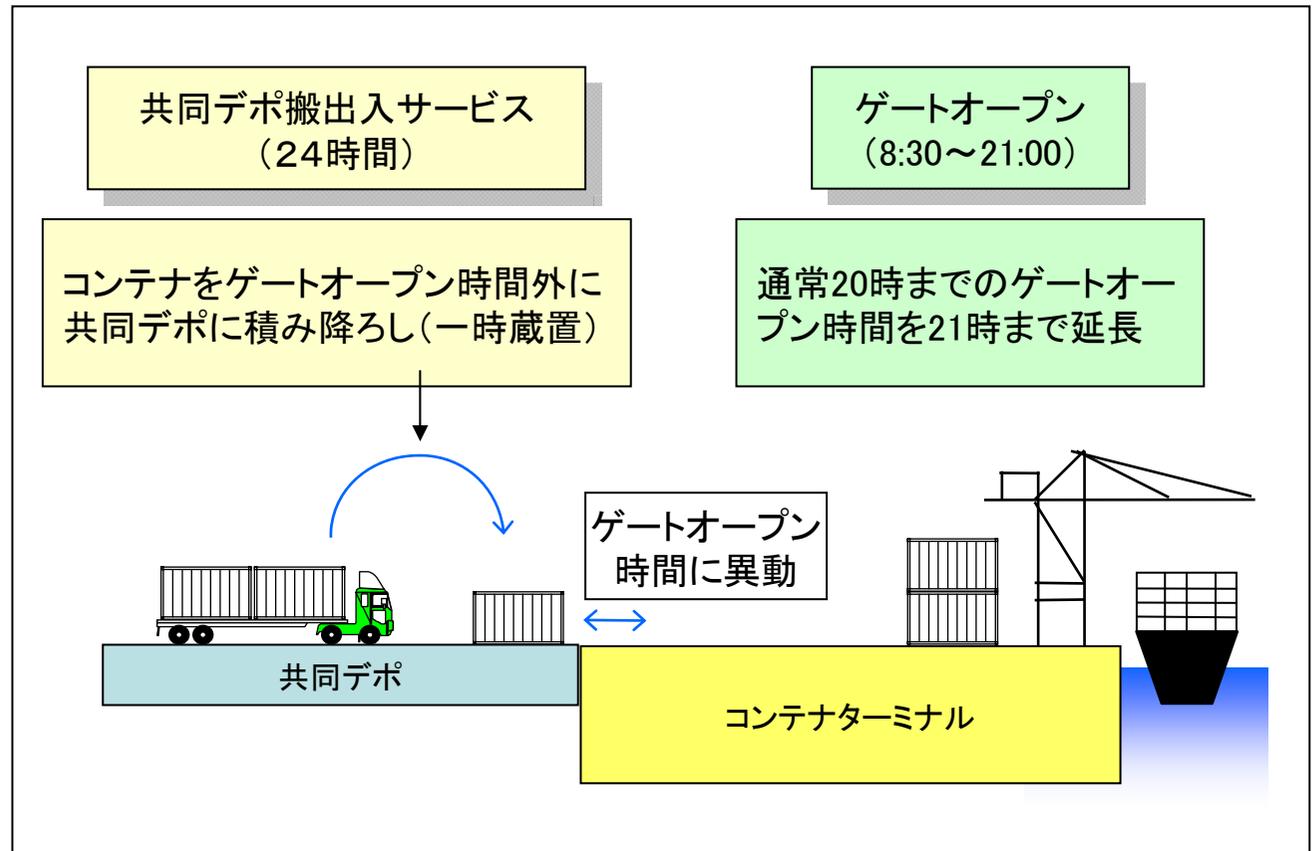
平成20年5月2日  
国土交通省港湾局

# 神戸港ゲートオープン時間拡大等の社会実験について

利用者ニーズ等へのより適切な対応を図る観点から、港湾の深夜早朝利用に関し、利用者の具体的ニーズや必要となるコスト等の課題について検証するため、スーパー中枢港湾のひとつである神戸港において、実質的な24時間搬出入サービスの提供に係る社会実験を実施

## 実験内容

- 期間  
平成19年10月1日(月)～  
平成19年12月29日(土)(90日間)
- 場所  
神戸港ポートアイランドⅡ期地区  
PC18及び西側隣接の共同デポ

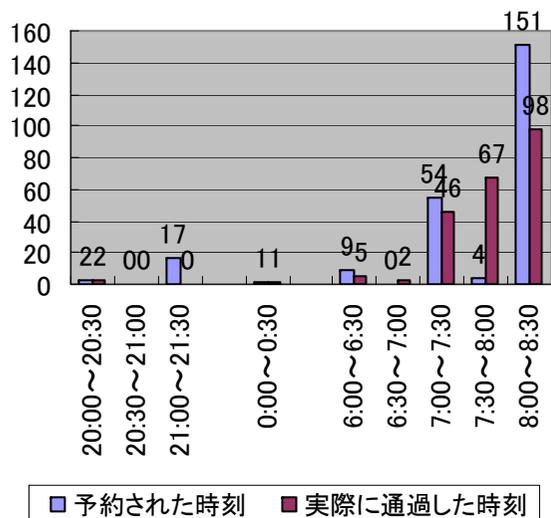


# 神戸港社会実験結果の概要

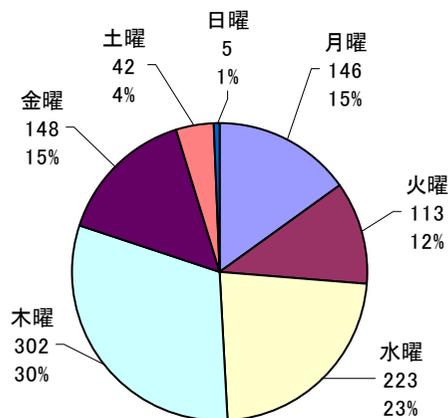
## 社会実験結果の概要

- 拡大した取扱時間帯(20:00~翌8:30)での取扱本数は240本、ターミナルで取り扱う全体本数の0.3%だが、早朝(7:00~8:30)のニーズは高い
- 平日利用が95%、週末の利用はわずか
- 実験後半に利用が増加
- 実験利用トラック事業者の拡大時間帯でのサービスに対する評価は高い

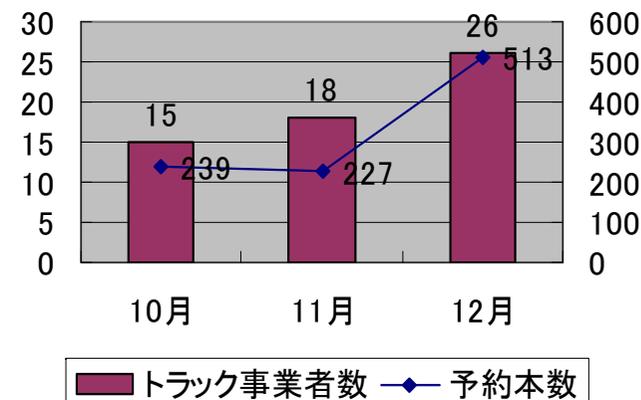
## 拡大時間帯における予約及び実際の通過状況



## 曜日別予約本数



## 実験利用トラック事業者と予約本数の推移



# 社会実験利用者の評価

○社会実験に対するトラック事業者、荷主の評価は高い

## トラック事業者

○実験を利用したトラック事業者の大多数は、時間外サービスの継続を強く希望

○トラック事業者が享受するメリット

- ・車両回転率が向上し、シャーシ・ドライバーが有効活用できる。
- ・早朝の搬出、夜間の搬入により、貨物の保管コスト・リスクが削減できる。
- ・ターミナル周辺の渋滞が緩和されることにより、ターミナルからの搬出入が迅速化される。

## 荷主

○物流サービス向上のためのゲート24時間化に向けた取組みとして評価は高い

○荷主が享受するメリット

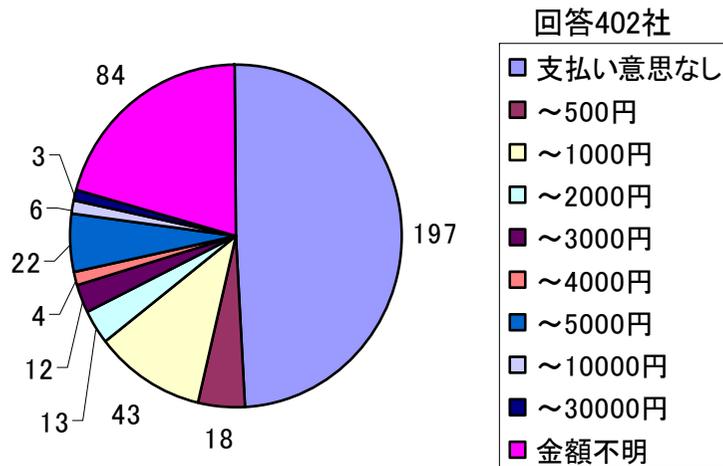
- ・早朝夜間にターミナルからコンテナを搬出できることにより、始業時間に貨物が確実に搬入され、在庫コストが低減
- ・特に遠隔地の荷主にとっては、夜間の搬出入によりメリットが顕著に表れる。このため、兵庫県のほか、山口県、高知県、愛知県、岐阜県、福井県など、2府12県の利用があった。

# 利用者の追加コスト負担意向

○時間外利用に対するコスト負担について、神戸港での社会実験前に主要港の荷主にアンケートを実施したところ、半数が負担意向を示したが、負担意向金額のレベルはそれほど高くなかった。  
 ○トラック事業者について、実際に神戸港での実験を利用した事業者にアンケート等を実施したところ、負担意向はほとんどなかった。

## 荷主(主要港全体)(社会実験前)

- 「支払い意思あり」が回答企業の51%
- 平均金額は、コンテナ1個当たり約1100円



## トラック事業者(神戸港)(社会実験後)

- 実験利用26社のうちの24社から回答あり
- 追加料金が必要なら利用しないが22社

